



かすみがうら市 学校統合だより

TEL 029-897-1111 0299-59-2111

Mail

gakkokyoikuka@city.kasumigaورا.ibaraki.jp

発行 統合委員会事務局(かすみがうら市教育委員会学校教育課)〒300-0192 かすみがうら市大和田562

霞ヶ浦中学校が始動 小学校統合は引き続き検討へ

霞ヶ浦中学校は、4月7日に開校式を行い、新たな歴史の1ページを刻み始めます。3月27日に南・北中学校で行われた閉校式は、市議会議員や歴代の校長、卒業生、地域の方々など、学校に関わりの深い方々が参加し、盛大に執り行われました。

小学校統合については、霞ヶ浦地区小学校の統合が市議会で否決されたことに伴い、今後の方向性を検討することになりました。千代田中地区の小学校の統合については、新校の位置について意見が分かれ、将来的な統合を前提に活動を一時休止することとなりました。

霞ヶ浦中

南・北中学校が閉校

4月7日は霞ヶ浦中で開校式

かすみがうら市立南中学校と北中学校では、3月29日、それぞれの学校を会場に、閉校式が行われました。

北中学校の閉校式には、多くの卒業生も参加し、盛大に執り行われました。式では、写真スライドを上映し、これまでの北中学校の歴史を振り返りました。最後に、校旗を学校長から市長に返納し幕を閉じました。会場では、式を終えた後も、地域の方々や卒業生、歴代校長などが思い出話に花を咲かせていました。

南中学校の閉校式も、学校に縁の深い方々によって、盛大に執り行われました。また、参加者にはサプライズで、元南中学校音楽教諭による歌のプレゼントがあり、会場は、閉校の寂しさをひととき忘れ、大きな盛り上がりを見せました。

4月7日には、霞ヶ浦中学校で開校式を開催。市長から初代校長の稲生耕一校長に校旗が授与されま

す。

それぞれの学校は、3月31日をもって、長い歴史の幕を閉じ、翌4月1日からは、これまで別々の中学校に通っていた生徒たちが、新生「霞ヶ浦中学校」の学び舎で、生活することになります。

霞ヶ浦地区統合小

統合関連の条例及び予算の否決 経過が合同委で報告に

下大津・美並・牛渡・宍倉小学校と、佐賀・安飾・志士庫小学校の統合にかかる条例改正案が、平成26年第1回市議会定例会で否決されました。

また、統合関連の施設整備に要する費用を盛り込んだ平成26年度一般会計予算案も否決されたため、市では、同定例会の会期中に、2つの統合小学校の校舎となる、美並小学校と旧北中学校の施設整備に要する費用を除いた予算案を再度議会に提出し可決されました。

市議会からは、否決に当たって市に対する意見書が提出され、市民の合意が得られていない、千代田

地区の小学校統合の方向付けがなされていない、統合にかかる財源確保が確実ではないとの指摘がありました。

このような結果を受けて、これまで統合に向けた調整を進めていた、下大津・美並・牛渡・穴倉統合小学校統合委員会と佐賀・安飾・志士庫統合小学校統合委員会では、3月27日に合同委員会を開き、事務局から報告を受けました。

会議の中では、全委員が、PTAや地元住民から反対の声は聞いたことがないとしたうえで、次のような意見が出されました。

- ・ 保護者からは、驚きと不安の声が聞こえる。
- ・ 子どもたちは、統合によって友達が増えることを喜んでいる。
- ・ 子どもたちは、すでに統合を前提とした事前交流を行っていて、楽しんでいるし、友達が増えたと喜んでいる。
- ・ 1学級の場合、人間関係のトラブルがあると、逃げ場がないので、統合に賛成。
- ・ いずれ大人数の中に入るのであれば、小学校のうちから入っていた方がよいのではないか。
- ・ 異年齢間の交流による人間関係の構築も大事だが、同年齢間の交流が必要ではないか。
- ・ これだけ同学年の子どもたちが、減っていると、ドッジボールなどの遊びが成り立たず、遊びが制限されるのではないか。
- ・ 現在、1学年の児童が少なく、また、男女のバランスが偏っているので、統合により人数が増えることはよいと思う。
- ・ 保護者の中には、統合を前提に、体操服の購入の調整までしている方もいる。そこにきて、今回の否決の話なので、どうすればよいのかと相談を受けた。
- ・ 状況がよく飲み込めていないが、これまでの経過を無にするのではなく、少しでも早い統合に向けて進めていきたい。
- ・ 子どもの将来を考えてやるのは大人の責任。大人がもう一度よく考えて、教育環境を整えなければならない。
- ・ 財政難かもしれないが、統合など教育に対する予

算の優先順位を上げてもらいたい。

- ・ 今後は、さらに少人数化が進んでいくのを周りの保護者も心配している。多くの仲間と遊んだり、勉強させたりしたいと思っている。
- ・ 統合の話が出た当初は、色々な思いがあった。しかし、今は自分自身も理解しているし、地域の理解も得られていると思う。

市では、市議会の指摘を踏まえ、地域の意向を伺うとともに、費用の検証などにより、今後の方向性を見い出していく考えです。

志筑・新治・七会・ 上佐谷統合小

将来的な統合を前提に活動一時休止へ

3月17日、第5回志筑・新治・七会・上佐谷統合小学校統合委員会が行われました。前回の委員会で、新校の位置を巡り意見が分かれたことから、各校を耐震化するために必要な費用及び小中一貫教育について調査することとしていたものです。

この日は、事務局からこれらの説明を受け、今後の進め方について協議しました。

新校の位置について、志筑地区では志筑小がよい、新治、七会、上佐谷の各地区では千代田中がよいとの意見で変化はなく、今後の進め方については次のような意見が出されました。

- ・ 統合を振り出しに戻すのではなく、何年後に統合するかという目標の設定など、年に数回でも会議を開いてはどうか。
- ・ 統合委員会は解散し、メンバーを入れ替えて次の世代に任せの方がよい。
- ・ 新治小、上佐谷小の校舎の耐震化を要望する。
- ・ 新校の位置を決定するのは時期尚早。

このような意見を踏まえ、将来的な学校統合に向けた検討を続けることを前提として、統合委員会の活動を一時休止することとしました。